

平成18年度「診療所薬剤部門の現状調査」 平成19年3月 社団法人 日本病院薬剤師会 診療所委員会

施設名 _____ 所属 _____

記入者氏名 _____

I. 経営主体分類

1	国(厚生労働省、逓信病院、その他国の機関)
2	公的医療機関(都道府県、市町村、日赤、済生会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
3	社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会健康保険組合およびその連合会、共済組合およびその連合会、国民健康保険組合)
4	医療法人
5	学校法人
6	その他法人(独立行政法人、国立大学法人、公益法人、社会福祉法人、医療生協、会社)
7	個人
8	その他(上記以外)

II. 施設機能分類

1	無床		
2	有床 (許可病床数)	一般	床
		療養	床
		その他	床
3	その他()		

III. 対象患者

1	一般(患者を全く特定しない)
2	特定の患者(従業員とその家族のみ等)
3	特定患者が主だが、一般患者も受け入れている
4	その他()

IV. 一般調査

1	平均外来患者数	人/日(6月平均)	
2	許可病床数(老健施設は除く)		床
	A)一般病床		床
	B)療養病床		床
	C)その他()		床
3	平均入院患者数(老健施設は除く)	人/日(6月平均)	
	A)一般病床	人/日(6月平均)	
	B)療養病床	人/日(6月平均)	
	C)その他()	人/日(6月平均)	
4	薬剤部門職員数	薬剤師 常勤 人 非常勤 人 (このうち他部門への出向者 人) その他 事務職員:常勤 人 非常勤 人 休憩時の薬剤師の補充 (あり なし)	
5	入院処方せん		枚/日(6月平均)
6	外来処方せん(院内)		枚/日(6月平均)
7	院外処方せん発行	1:実施	枚/日(6月平均) 2:未実施
8	注射薬処方せん	1:実施	枚/日(6月平均) 2:未実施
9	夜間・休日体制	1:当・日直(毎日) 2:一部当直 3:日直のみ 4:ON CALL 5:交替制勤務 6:なし 7:その他()	
10	医療保険 訪問薬剤管理指導	1:実施	請求件数 件 患者数 人 (6月・合計)
		2:未実施	
11	介護保険 居宅療養管理指導(薬剤師が行なう場合)	1:実施	請求件数 件 患者数 人 (6月・合計)
		2:未実施	
12	外来化学療法加算算定件数	1:あり	件(6月・合計) 2:なし
13	褥瘡ケアの薬学的管理	1:あり	件(6月・合計) 2:なし
14	外来患者服薬相談コーナー(室)相談件数	1:あり	件(6月・合計) 2:なし
15	薬剤情報提供料	1:実施	請求件数 件(6月・合計) 2:未実施
16	お薬手帳	1:あり	2:なし
17	製剤実施状況	1:実施	(1)無菌製剤(1:実施 2:未実施) (2)一般製剤(1:実施 2:未実施)
		2:未実施	
18	注射剤混合業務	無菌製剤処理(中心静脈)	1:実施 請求件数 件(6月・合計) 2:未実施
		無菌製剤処理(悪性腫瘍)	1:実施 請求件数 件(6月・合計) 2:未実施
		無菌製剤処理(免疫不全等)	1:実施 請求件数 件(6月・合計) 2:未実施
		一般注射剤の混合	1:実施(全科) 2:実施(一部) 3:未実施
19	PETの保有と薬剤師の関与	1:保有 薬剤師の関与 1:あり 2:なし 2:なし	
20	治療薬物モニタリング(TDM)への関与	1:あり	2:なし
21	薬事委員会への関与	1:あり	2:なし
22	治験審査委員会への関与	1:あり	2:なし
23	治験協力者としての関与	1:あり	2:なし
24	治験薬の保管・管理への関与	1:あり	件(6月・合計) 2:なし
25	医療事故防止対策への関与	1:あり (A 委員会への関与 B その他)	2:なし
26	院内感染防止対策への関与	1:あり (A 委員会への関与 B その他)	2:なし
27	医薬品情報管理室	1:あり	2:なし
28	オーダーリングシステムの導入	1:あり	2:導入予定あり 3:なし
29	電子カルテの導入	1:あり	2:導入予定あり 3:なし
30	インターネットの利用	施設	1:できる 2:できない
		自宅	1:できる 2:できない

31	卒前実習	1:実施	(1)病棟実習 1:あり 2:なし (2) A) 学部学生(4週間以上) 人(H17年度) B) 学部学生(4週間未満) 人(H17年度) C) 大学院生 人(H17年度) D) その他 人(H17年度)
		2:未実施	
32	卒後研修(見学のみは含まない)	1:実施 人(H17年度)	2:未実施
33	薬剤師採用時の応募状況	平成17年度採用 募集人数 人 応募人数 人 平成17年度途中採用	
34	診療報酬改定の希望	1:診療所における薬剤管理指導料の新設 3:調剤技術基本料の増額 2:薬歴管理指導料の新設 4:薬剤情報提供料の増額 5:その他()	
35	薬剤管理指導について	1:診療報酬はないが、既に薬剤管理指導を行っている 3:診療報酬があれば、薬剤管理指導業務の実施を検討する。 2:診療報酬があれば、薬剤管理指導業務を実施する。 4:その他()	
36	疑義照会件数	(1)内用・外用	入院 件/月 (6月・合計) 外来(院内) 件/月 (6月・合計)
		(2)注射	入院 件/月 (6月・合計) 外来 件/月 (6月・合計)
37	薬歴に基づく調剤	1:入院・外来処方について行っている	
		2:入院処方のみ行っている	
		3:外来処方のみ行っている	
		4:ハイリスク薬など一部の処方についてのみ行っている	
		5:特に行っていない	
		6:薬歴に基づく鑑査の結果処方変更となった件数	件/月 (6月・合計)
		7:その他	
38	処方鑑査の実施	1:入院時に聴取した服薬歴等の情報を基に処方鑑査を行っている	
		2:初回外来時に聴取した服薬歴等の情報を基に処方鑑査を行っている	
		3:検査値、病名等の患者個人の情報を基に処方鑑査を行っている	
		4:その他	
39	ハイリスク薬について	1:取扱いに関する業務手順書がある	(A)はい (B)いいえ
		2:定期的に業務手順書の見直しを行っている	(A)はい (B)いいえ
		3:その他	
40	医薬品情報の収集・解析・評価・提供	1:製造販売後安全情報(厚生労働省・製薬企業等)、文献情報等に基づき、施設内の情報伝達の徹底を検討する院内組織がありますか	(A)はい (B)いいえ
		2:(1)の組織で薬剤師はどのような役割を担っていますか	(A)委員長 (B)副委員長 (C)委員長と副委員長 (D)委員 (E)事務局 (F)その他
		3:製造販売後安全情報(厚生労働省・製薬企業等)、文献情報等に基づき施設内の情報伝達の徹底の工夫をしていますか	(A)処方患者を特定して処方医に的を絞って情報提供をする。 (B):(A)に加えて、薬剤師が副作用の発現の有無を医師と協力して確認している (C)その他
		4:製造販売後安全情報(厚生労働省・製薬企業等)、文献情報等に基づき、施設内の情報伝達の徹底を工夫したことにより、具体的に薬物療法の安全が確保した事例がありますか	(A)医師からの問い合わせ件数が増加した (B)処方変更が増加した (C)その他
41	医薬品の採用	1:新薬の採用に際して、薬剤師が評価作成した資料に基づき院内採用薬の審査をしていますか	(A)はい (B)いいえ
		2:上記審査において薬物療法の安全のために、使用制限等を設けた例がありますか	(A)新規採用薬 品目/年 (B)使用期限を設けた医薬品 品目/年
		3:薬物療法の安全のための使用制限・安全措置の具体例をお示しください	(A)使用診療科制限 (B)使用医制限 (C)処方前の骨髄検査の義務付け (D)処方前の腎機能検査の義務付け (E)その他
		4:上記、使用期限・安全措置の具体例について薬剤師が担う役割が決まっているものがありますか。(例)調剤時に骨髄検査が実施されるか、中止規定に抵触しないか確認する。	
42	後発医薬品の採用状況	1:採用割合(品目数)	(A)内用薬(%) (B)外用薬(%) (C)注射薬(%)
		2:採用割合(金額:薬価ベース)	(A)内用薬(%) (B)外用薬(%) (C)注射薬(%)
43	薬業連携について(保険薬局からの問い合わせがあった場合の対応)	1:保険薬局への患者情報の提供件数	件/月(6月・合計)
		2:新規採用薬などの業務連携に必要な情報提供件数	件/月(6月・合計)
		3:保険薬局からの後発医薬品の処方変更情報提供件数	件/月(6月・合計)
44	持参薬の管理	1:全ての入院患者(無床診療所の場合外来患者)に対して持参薬をチェックし、医師等に情報提供し共有している	件/月(6月・合計)
		2:一部の入院患者(無床診療所の場合外来患者)に対して持参薬をチェックし、医師等に情報提供し共有している	件/月(6月・合計)
		3:持参薬の薬学的検討を行い提供したことにより処方変更等があった	件/月(6月・合計)
		4:していない	
45	今後について	1:貴施設でこれから取り組みたい業務は	
		2:そのためには、何が必要だと思いますか	
46	委員会への要望事項		